

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名	団塊ジュニア世代の住宅ニーズに関する調査研究		
2. 有識者意見の概要及び対応	有識者（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 松村 秀一 助教授）		
	意見の概要	意見に対する対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の観点があればよいのではないか。 団塊ジュニア世代がどれだけ子供を生みどういった家族形態になるか、という観点があるとよいのでは。働きながら育てられるような環境の住宅、良質な保育所や子育てサポートセンターが近くにある住宅など、住宅そのもののほか子育てや家族生活を円滑にできる住宅立地に対する強い関心が今後重要になると思われる。 また、単身世帯も多くなると思われ、その場合、友達の住まいに近いところに住居を選ぶ傾向があると思われる。 ・ 団塊ジュニア世代の住宅に対するモビリティの観点があればよいのではないか。 中古住宅が流通しないのは、売る人がいないため、何故かといえば、引越しをしないため。米で中古住宅市場が大きいのは引越しをするため。しかしこれが問題というのではない。今後住宅は確実に余ってくるので、例えば田舎の両親が住んでいた戸建の家で使われなくなったものを空き家にしておくのではなく賃貸にしたり都心と地方の両方に住めるようなスキームにより中古住宅が流通するようになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 今後の課題として記載する。 2) また、今後の関連研究を計画する際に検討する。 1) 今後の課題として記載する。 2) また、今後の関連研究を計画する際に検討する。 	